

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 消防団火災対応能力の向上事業

自治体名

長野県塩尻市

消防団名

塩尻市消防団

1 事業目的

時代ニーズに応じた活動方針を常備消防と共有し、同等装備品の使用技術・知識を習得することで、火災対応における近代化を図ることを目的とします。

2 事業内容

【消火戦術講習会】

活動方針を常備消防と共有し、装備品等の重要性について知識を深めました。

【高性能防火衣の着装訓練】

配備所属向けに着装訓練を実施し、装備品の使用技術の習得を図りました。

【多機能型ノズルを用いた火災想定訓練】

地域住民に対する装備品等の披露も兼ね、火災を想定した放水訓練を所属で反復的に行い、全団員に対する事業の周知徹底を図りました。

【事後検証・事業広報】

アプリケーションを用いた事後検証を行い、事業の更なる発展に努めました。

また、消防団の処遇改善に向けた近代的な取組みとして、当市のホームページやSNSを通じて広報し、消防団の普及啓発を行いました。

3 事業成果

本事業は、**消防団の火災対応における近代化の一端として、火災対応能力が向上したほか、装備品等の高性能化は、消防団員の安全管理に直結しました。**更に、常備消防との「活動方針の共有」及び「同等装備品の統一」は、**火災現場における常備消防との連携強化**に寄与するほかにも、**指揮命令系統の円滑化**が見込まれるものです。

事後検証では、参加団員の90%以上が、事業に対して“非常に良い”又は“良い”と回答し、「活動方針の共有は非常に有効」や「同様の訓練を毎年行いたい」などの意見が多く挙げられました。幹部訓練は、降雨に伴い規模縮小しましたが、所属訓練に注力するよう指導しました。

高性能防火衣の配備は、市の予算で令和10年までの計画配備を予定していたところ、令和5年度分を国庫補助金で捻出することができました。

また、多機能型ノズルは、その他の資器材を配備後に、配備を検討する資器材でしたが、事業採択に伴い大幅な早期配備が実現しました。

4 達成状況

指 標	単 位	当初目標	実績値	備 考
講習会	人数	30人	80人	部長以上
各種訓練	回数 人数	3回 560人	16回 340人	【幹部訓練】 1回/ 80人 【所属訓練】 15回/260人 ※雨天で規模縮小のため減少
事後検証	回数 人数	1回	1回 25人	一斉配信アプリを活用 (オクレンジャー)

5 参考情報

事業紹介ホームページURL

<https://www.city.shiojiri.lg.jp/site/bousai-syoubou/35687.html>



高性能防火衣一式



多機能型(トリガー)ノズル